

はじめに

「交流拠点都市 ～観光立市～」の創生に向けて

わたしたちのまち美祢市は、平成 20 年 3 月 21 日に美祢市・美東町・秋芳町の合併により誕生しました。これまでの地域の特性を生かしたまちづくりを継承しつつ、一体的で均衡ある発展を目指して、新たなまちづくりの一步を踏み出したところです。



現在、地方自治体を取り巻く環境は、変動する政治・経済の動向や人口減少社会の到来、地球環境問題の深刻化、さらなる地方分権を推進する制度改革の動きなど、大きな転換期を迎えており、本市においても人口の減少や厳しい財政状況、地域活力の低下など、多くの課題を抱えています。

このような状況の中、平成 22 年度を初年度とする「第 1 次美祢市総合計画」を策定いたしました。策定にあたっては、合併時に確認された新市基本計画を継承するとともに、総合計画審議会、地域審議会、市民アンケート、協働のまちづくりワークショップ、パブリックコメント等、多くの市民の皆様のご協力をいただき、市民協働の計画づくりに取り組んで参りました。

本計画は、今後 10 年間のまちづくりの基本理念を「市民が夢・希望・誇りをもって暮らす交流拠点都市 美祢市」として掲げ、将来象の実現に向けた基本的施策を総合的、体系的にまとめたものです。新たな試みとして成果指標を設け、的確な分析のもとフォローアップに取り組むとともに、これからのまちづくりの原動力となる市民協働の要素を加えています。

本市は秋吉台に代表される豊かな自然や、先人から受け継がれてきた歴史、文化が息づく美しいまちです。この美祢市が発展し、次世代に対して明るい未来を託すことができるように、新たな美祢市の魅力や活力を創造し、夢と希望に満ちあふれた、誇りをもって暮らすことができるまちであり続けなくてはなりません。

そのための総合的な指針が本計画であり、計画の実現に向けて全力で取り組んで参る所存です。しかしながら、計画の着実な実施のためには、行政に携わる者のたゆまぬ努力はもちろんのことですが、市民の皆様のお力添えが必要不可欠であります。今後とも市民の皆様、関係諸団体の皆様により一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして貴重なご意見をいただきました多くの市民の皆様をはじめ、熱心にご審議いただきました総合計画審議会委員、地域審議会委員の皆様にご心から感謝申し上げます。

美祢市長 村田弘司

交流拠点都市

～観光立市～





市章

平成21年4月4日告示



美祢市の「M」をモチーフに、雄大なカルスト台地、緑あふれ稔りある大地、やすらぎと活力ある美祢市の姿をイメージ、白地は輝きと風（交流と調和）、グリーンは発展・調和・健康を表現しています。

市の花 サクラ

平成21年4月4日告示



バラ科の落葉高木又は低木であり、日本を代表する花として知られています。厚狭川桜並木をはじめ、市内の随所に名所があり、市民に親しまれ、愛されています。

市の木 カシ

平成21年4月4日告示



ブナ科の常緑高木であり、市全体に多数自生しています。古くから生垣や農具、建材として生活に密着し、市民に馴染み深く、親しまれています。

市民憲章

平成21年4月4日告示

わたくしたちは、カルスト台地に抱かれた緑豊かな美祢市に住むことに誇りと責任をもち、潤いと活力のある住みよいまちづくりをめざし、この憲章を定めます。

- 1 自然を守り、郷土を愛し、美しいまちをつくります。
- 1 ふれあいと思いやりを大切にし、温かいまちをつくります。
- 1 よい伝統と文化を受け継ぎ、ひとを育むまちをつくります。
- 1 働くことに喜びと誇りをもち、活気ある豊かなまちをつくります。
- 1 未来への希望をもち、誰もが輝くまちをつくります。